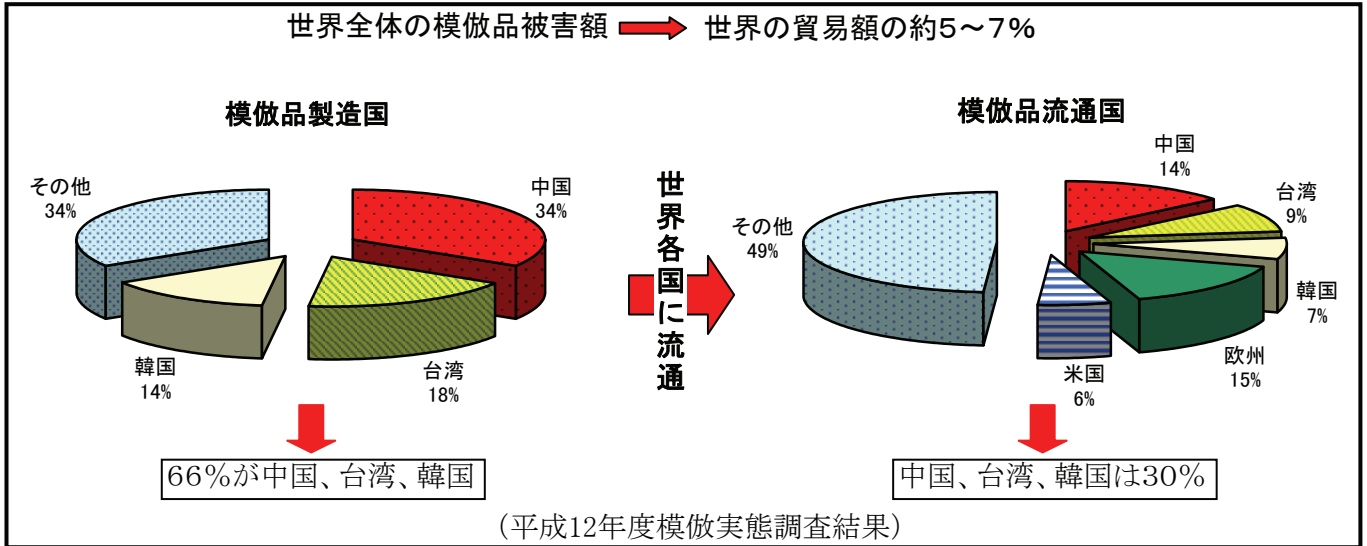


# 日本知的財産協会 模倣品対策フォーラム

2002. 2. 19  
 ペンてる(株)特許部 笹川 徹

## 1. 日本製品に対する模倣品の現状

H13.12.7 経済産業省主催の「知的財産を巡る検討に関する産業界への説明会」配布資料より



## 2. 文具製品に対する模倣品の現状

文具製品の模倣の難易度

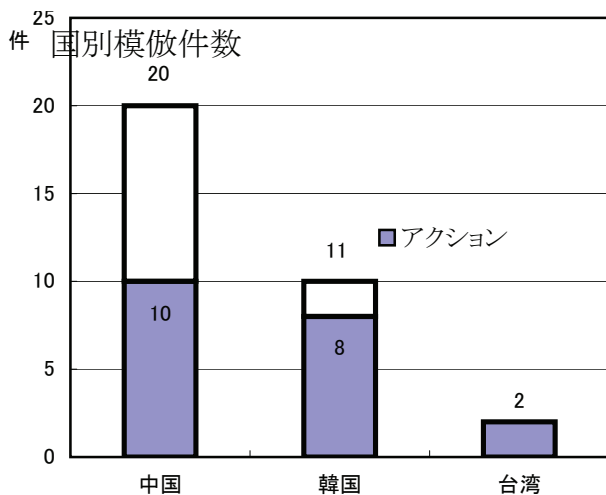
→ 化学的なもの(組成)を除けばメカ的なアッセンブル技術が主体

↳ 生産設備も小規模で可

→ 模倣が容易

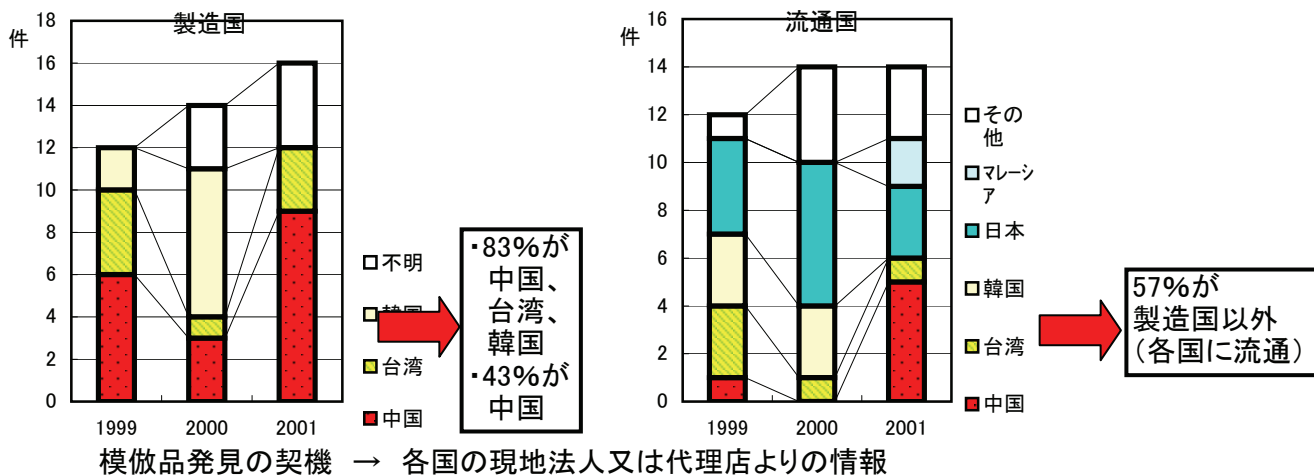
第12回 国際文具・紙製品・事務機器展の状況

(ISOT2001 2001.7.12~14 東京ビックサイト 国内325社 海外244社)



→ 61%が中国

### 3. 弊社製品に対する模倣品の発生状況(1999.1~2001.12)



### 4. 弊社の中国、台湾、韓国における模倣品対処状況

	中国	台湾	韓国
対処状況	① 弁護士名で警告書を発送しても回答なき場合が多い ② 行政摘発又は訴訟による解決以外なし	① 弁護士名で警告書を発送すれば9割は止まる ② 謝罪文の提出も可 ・業界紙等による謝罪文の掲載も可 ・再発時のペナルティ	① 弁護士名で警告書を発送すれば9割は止まる ② 謝罪文の提出も可 ・業界紙等による謝罪文の掲載は不可

### 5. 中国事情

#### 1) 模倣品の価格

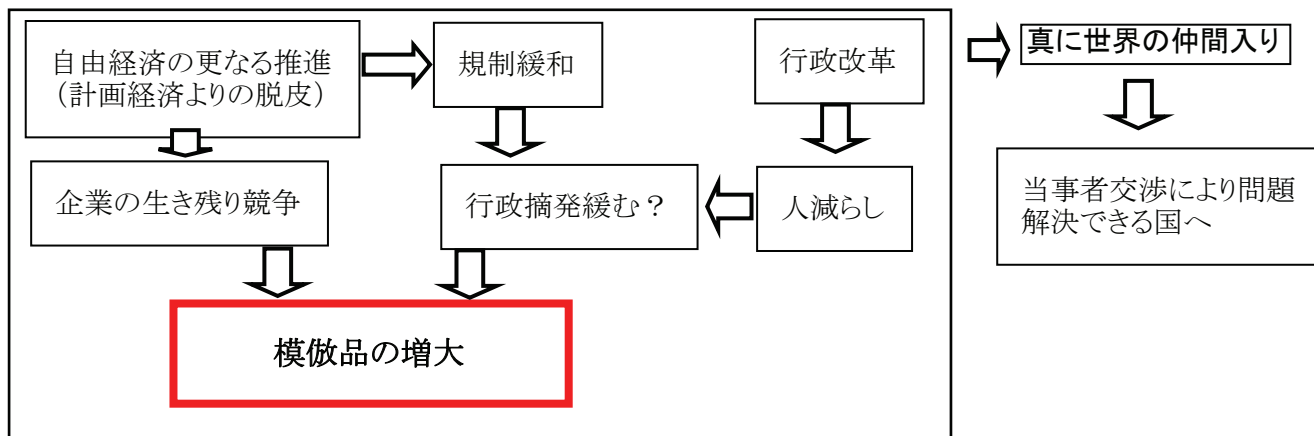
中国国内…弊社製品の1/15~1/10

中国以外…弊社製品の1/2~2/3(各国へ流通)



価格競争では絶対に勝てない

#### 2) WTO加盟後の動向?

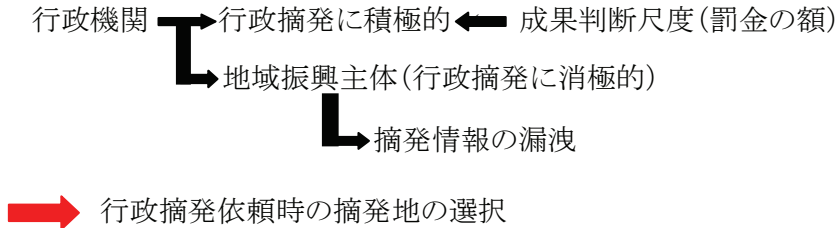


3) 果敢ノフイノヘノ必要1社

模倣品会社1社で各社の模倣品を製造 (⇒業界内における情報伝達等の仕組み作り)

4) 問題点

①行政摘発における地域差



②報道規制

③意匠出願無審査制度

行政摘発 → 対抗手段としての無効審判請求(審決まで1~2年)  
→ 行政処分決定時期の遅れ → 制度改正の必要性

④特許出願審査の遅延

登録時期の遅れ  
→ 売り逃げ・作り逃げ(侵害得)  
→ 早期審査制度の必要性  
→ 反不正当競争法(日本の不正競争防止法に該当)による商品形態模倣の規制の必要性

⑤税関による差押さえ時の保証金(貨物相当額)の提出(権利者の金銭的負担)

日本では申立人と輸入者等の主張が対立し、当該物品について侵害品か否か認定しがたい場合に、税関が供託命令

⑥地方人民法院裁判官の任命

地方の各級人民代表大会常務委員会で任命  
→ 地方共産党委員会が掌握  
→ 地方保護主義(地方利益優先)が発生  
→ 公平性欠如

以上